

「産業医プログラム」運営をアクサ・ライフケアで

ヘルスケア分野を戦略的に強化

アクサ・ホールディングス・ジャパンは7月28日、ヘルスケア事業を新たに編成するため、9月1日付で吸収型会社分割を行い、「産業医プログラム」の運営を株式会社傘下で保険料収納代行業務

を展開するアクサ収納サービス(株)に統合、社名を「アクサ・ライフケア」に改めることを発表した。なお、アクサ収納サービスが行っている保険料収納代行業務については、引き続き新たな編成で継続

し、サービスの内容には一切の変更はない。「産業医プログラム」はアクサグループ企業のアクサ・アシスタンス・ジャパン(株)を通じて2021年4月から本格展開しているもので、職場における

心と身体の健康維持・増進を目的に、健康経営を導入・実践する企業とその従業員をサポートするサービスとして提供している。同ホールディングスでは「#ONE AX A 2023」お客さまと共に「戦略のもと、健康経営ビジネスモデルとのさらなる連携を通じたサービス拡充と事業拡大を加速さ

せるため、持株会社傘下で新たに編成される組織に「産業医プログラム」の事業運営を移行。新たに編成される組織を母体として、ヘルスケア分野での事業開発・推進を戦略的に強化することとなった。

アクサ・ライフケアの代表取締役社長兼CEOに就任する予定の富田誠一郎氏は「アクサ生命は、ビジョンとして『ペイヤーからパートナーへ』を掲げている。生命保険や損害保険、資産運用のコアビジネスの強みのある領域で、アクサは顧客を守り、ライフマネジメントをサポートする保障や資産形成の商品・サービスを提供している。『人生100年時代』を迎えた今、一人一人のウェルビー

ングの向上に寄り添うためには、強みのある領域をさらに磨き、ヘルスケア分野での知見やサポートを提供していくことが必要不可欠だ。この領域における社会的な課題や要請に対して、アクサは『パートナー』として応えられる力をつけていきたいと考えている」とコメントした。